

## 発表の際の倫理的配慮について

発表資料の作成，また実際のご発表の折には，以下の点にご注意ください。

- ・ご発表資料の作成においては，他者の著作権を侵害することのないようご配慮下さい。
- ・ご発表に際して，個人の情報が特定されたり，個人があらぬ誹謗中傷を受けたりすることのないよう，十分ご注意ください。

### 〈特に個別の事例を扱う場合〉

- ・本大会には，多様な背景を持つ参加者が集まります。医療や臨床心理を専門とした学会で見られるような「事例検討」を本大会で行うことは，所有する資格により守秘義務を負わない方も大勢おられることから，難しいと考えております。そのため，純粋な事例検討に関わるケース発表は本学会では受け付けません。なお，事例に関わる発表を行う際には，「事例検討」として提示するのではなく，「マインドフルネスの効果」に関する研究発表の側面を強調して頂き，個人に関わる情報は可能な限り省いて頂くか，変更するなどしてご対応下さい（変更している場合にはその旨明示して下さい）。
- ・事例に関わる発表をする場合には，すでに終結したケースに限ります（現在もセンシティブな悩みを抱える患者さんが，本大会の発表をご覧になることもあるため）。
- ・また，事例に関わる発表をする場合には，学会における発表の承諾だけでなく，「オンラインによる発表」についての承諾を，患者自身（未成年の場合には保護者）から得て下さい。